HEISEI ABENO EMAKI

平成阿倍野絵巻

鳥が飛び立ち、阿倍野・天王寺の街を旅する物語

工事の前の建物の壁が、白い唐草模様のレリーフでおおわれていたことを覚えていらっしゃいますか？
その唐草模様の中に、美しい姿で飛ぶ鳥が施されていたのを見つけた方はいらっしゃいますか？
「平成阿倍野絵巻」と題したこのウォールアートは、その鳥が建物を飛び出して、阿倍野・天王寺の街を旅する架空の物語を描いています。
日常の中にあるささやかで優しい時間や記憶の風景を、鳥は旅をしながらたくさんひろい集めました。
作家は現代美術家の中村協子さん。
しばらくの間、このウォールアートを通して、阿倍野・天王寺の街の魅力や思い出話に、すてきな花を咲かせていただければ幸いです。

2009年6月

阿部野橋ターミナルビル整備計画
広さ日本一の百貨店、国際級ホテル、最先端オフィス、ターミナルの特性を生かした都市型美術館、視界360°の大パノラマを堪能できる展望台を有する、高さ約300m日本一の超高層ビル。2014年春 完成予定。

平成阿倍野絵巻 「平成阿倍野絵巻」の制作意図について

2014年春の完成を目指す「阿部野橋ターミナルビル タワー館（仮称）」建設地に出現する全長200メートルにおよぶウォールアート「平成阿倍野絵巻」。作者で現代美術家の中村協子さんに、今回のテーマや作品に対する想いについて語っていただきました。

「平成阿倍野絵巻」の制作意図について

このたび再開発される阿倍野、天王寺エリアは大阪でも古い歴史を持った情緒あふれる地域です。古き良き伝統は守りつつ新しい街へと生まれ変わる阿倍野を表現しようと思いました。

「絵巻」というテーマについて

ウォールアートという横に長い特殊な平面を最大限に活かす構成にしたいと考えました。歴史的建造物や阿倍野に住まう人々の暮らしを草花と水でつなぎ、新旧を結ぶ物語を描き出しました。

今回の作品について、作者としての想い

大阪市立大学に二年間在籍しており、私にとって阿倍野は青春がギッシリつまった思い出の街です。そのような大切な場所に関わる仕事ができることを大変幸せに思っております。この作品には阿倍野にまつわる様々なモチーフが登場しますので、この絵巻を手がかりに街を散策して頂き、新しい阿倍野を発見していただけると幸いです。

中村 協子 プロフィール

1974年宮城県生まれ、大阪府在住。2000年、京都市立芸術大学美術学部油画専攻卒業。2002年アートスペース虹にて作家デビュー後、関西を中心に活動し、2006年、「GEISAI #11」におよそ千人の中からグランプリと審査員賞を受賞。今年の秋、大阪府立現代美術センターで行われる「ギャラリズム 2009 ～画廊の視点～」に出品が決まっている。

平成阿倍野絵巻 「平成阿倍野絵巻」マジックストーリー

❶これは誰かな？どこにいるかな？

西面の絵巻に描かれたこの2人の人物。彼らの名前はあの「ヒンキホーテ」と「サンチョ・パンサ」。この2人組、阿倍野エリアのある場所にいます。さて、どこにいるでしょう。

ⓐ天王寺動物園
ⓑ阿倍野図書館
ⓒ通天閣

❷これは何かな？どこにあるかな？

南面に描かれている見なれないもの。実は、これ「絵馬」なんです。この「絵馬」、ある場所に実際に納められています。さて、それはどこでしょう？

ⓐ四天王寺・五智堂
ⓑ大阪市立美術館
ⓒ阿倍王子神社

❸どこにあるかな？ 6枚のカルタ

絵巻のなかに6枚のカルタが描かれています。その絵札にはそれぞれ「ア」「ベ」「ノ」「エ」「マ」「キ」の文字が書かれています。順番にならべてみてください。

❹どこにいるかな？ 3人の小人

絵巻には阿倍野・天王寺の街を見物している小人がたくさん描かれています。特に、南面の絵巻の中には、背中に「ア」「ベ」「ノ」の文字を背負った3人の小人が紛れ込んでいますので、ぜひ探してみてください。

※❶❷の答えは裏面「阿倍野散策マップ」の下に、❸❹の答えは実際のウォールアートで探してください。

平成阿倍野絵巻

HEISEI ABENO EMAKI

＊無断転載を禁じます＊

■お問い合わせ
近畿日本鉄道株式会社
ターミナル開発事業本部
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町11-9 日本生命上本町ビル2階
Tel:06-4304-7555 Fax:06-4304-7337

2009.6

Artist：Kyoko Nakamura
Art Produce by TAK REALTY